

大切にしている愛車でも、いつかは別れの時は来てしまう。そのため、思い出として写真撮影は、今や多くの人が行なっているはず。この記録をさらに記憶として深く刻むなら、動画こそ最適解といえるだろう。進化したアクションカメラなら、手軽に鮮明な記録として残すことができるのだ。

まとめ：渡辺大輔 写真：前田孝介



愛車動画撮影のススメ

DJI
Osmo Action 6
アドベンチャーコンボ

価格：7万7440円
© DJI ☎03-6634-4949 <https://www.dji.com>

充実した撮影機能で
高品質な思い出を綴る

ここ数年でスマホのカメラは大幅に進化し、様々な機能強化が行われている。中でも画質は4000万画素を超えるものも登場し、さらに光学ズームも一眼レフカメラの望遠に匹敵するスペックを誇る製品があるほど。また、画像処理技術も進化したことで、昼夜問わず高精細画像を記録できるため、誰にでも思い通りの写真が撮影できるようになったのだ。この技術の進歩によって、デジタルネイティブ世代を中心に写真撮影が日常の風景になってきているというわけだ。

日常的に写真撮影を行なう人が増えてくると、愛車を撮影する人も増えてくるのも当然の流れ。納車されたタイミングはもちろん、ドライブ先で見かけた景色と共に愛車を撮影し、思い出をさらに集める。将来的に自分がどんなクルマに乗っていたかを思い返す時など、様々なロケーションでの愛車の写真があると記憶も鮮明に蘇ってくる



ケースなしでも水深20mまでの防水性能を発揮している。また耐寒設計も施されているため、雪の中などハードなロケーションでも利用可能だ。

るはずだ。ここでさらに思い出を鮮やかに記録するなら、動画撮影もおすすめ。静止画とは違い、背景の環境音やエンジン音などライブ感が加わることで、思い出のワンシーンをさらに鮮やかに彩ってくれるのである。ちなみに、写真撮影の裾野を広げたスマホであっても、ハイスペックカメラを搭載するモデルはまだごく一部のハイエンド機に限られている。特に動画撮影でいうと、各メーカーのフラッグシップのみしか機能強化が図られていない状況だ。例えばiPhoneでいえば17 Proシリーズでは、4K/120fpsでの撮影が可能になり、より滑らかかつ高精細な映像が記録できる。また、背景のぼかしや手ぶれ補正など、プロ向けの機能も満載されるため、写真だけ